

「AIで未来を切り拓く～「地域×AI」 広島からの挑戦～」の開催について

1 要旨・目的

本県がAI活用をリードし、地域課題の解決と新たな価値を創出していくための取組を進めていることを広く県民に周知するため、「AIで未来を切り拓く～「地域×AI」広島からの挑戦～」※を開催する。

※ 当イベントは、中国経済産業局が5日間にわたって開催するITイベント「Tech To The Future 2026」の中で、半日間の枠で開催するもの。

2 現状・背景

- 本県では、令和6年9月、AIを積極的に利活用して、誰もが希望持てる社会と未来を目指し、「AIで未来を切り開く」ひろしま宣言を行ったところであり、「HIROSHIMA AI TRIAL～失敗を生かそう～」をスローガンに、「広島AIラボ」等の取組を行っている。
- これまでの「広島AIラボ」の探究活動を、次のとおりイベントで発表する。また、イベントでは、併せて、自治体や企業のリーダーによるパネルディスカッション及び学生のアイデア発表等を実施する。

3 概要

(1) 実施主体

広島県

(2) イベントの概要

項目	内容
日時	令和8年2月10日(火) 13:30～17:00
場所	広島大学東千田キャンパス SENDA LAB (広島市中区東千田町一丁目1番89号)
対象者	自治体、企業、学生等
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○「広島AIラボ」探究報告 登壇者：DX推進担当部長、広島AIラボ職員 ○アイデア発表「次世代クリエーターが提案する“大崎上島×ゆるっとAI”」 登壇者：県内学生7名（広島大学、広島市立大学、広島工業大学、広島商船高等専門学校） ○パネルディスカッション「地域未来の再設計：AIが拓く地域の力」 パネリスト： 広島県知事 横田 美香 東京都副知事 宮坂 学 氏 グーグル・クラウド・ジャパン日本代表 三上 智子 氏 (株)エクレクト代表取締役 辻本 真大 氏

	<p>(一社) シェアリングエコノミー協会代表理事 石山 アンジュ 氏 モデレーター：広島県デジタル特別参与 須山 勇</p> <p>○交流会 登壇者及び来場者等による自由交流 ※詳細は別紙チラシのとおり</p>
参加費	無料
定員	会場 80 名、オンライン 300 名

4 その他（関連情報等）

「Tech To The Future 2026」 詳細

<https://www.chugoku.meti.go.jp/r7fy/event/digital/251217.html>